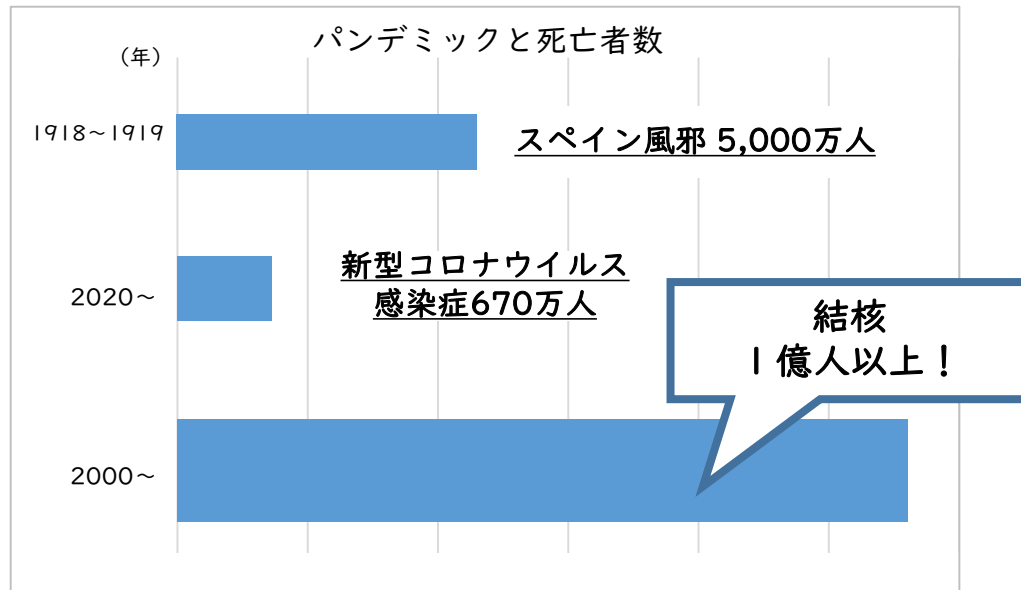


9月24日（火）～30日（月）は、 結核・呼吸器感染症予防週間です

1 今年から結核予防週間の対象を 呼吸器感染症へ広げることになりました！

新型コロナウイルス感染症を含め、20世紀以降のパンデミック（大流行）はすべて呼吸器感染症です。結核も呼吸器感染症のひとつです。

結核の死亡者数は全世界で毎年100万人以上でありパンデミックが長期に続いているといえます。



2 結核とは

結核とは、結核菌が体の中に入ることによって起こる病気です。結核患者の咳やくしゃみによって、空気中に結核菌が飛び散り、それを周囲の人が吸い込むことによって感染します（空気感染）。

結核にかかっても、きちんと薬を服用すれば、ほとんどの方が治ります。

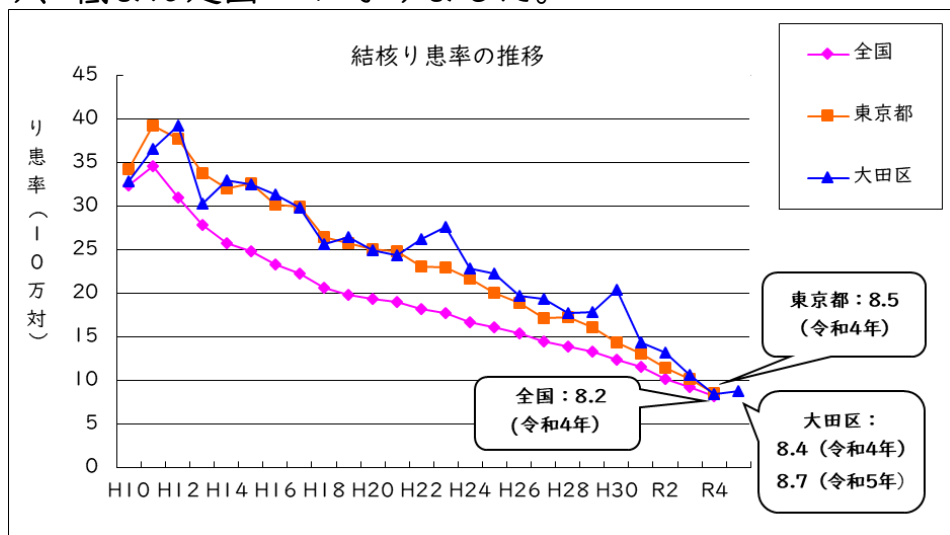
【結核が疑われる症状】

- * 2週間以上咳が続く
- * 痰が出る
- * 微熱が続く
- * 胸が痛い
- * 体重が減る
- * 体がだるい

○高齢者は、日常的に咳や痰が絡む状態が持続したり、咳・発熱などの症状が目立たない場合があり、気づきにくいいため注意が必要です。

3 大田区では昨年約60名が結核と診断されました

全国的に結核り患率※1は減少傾向です。これまで先進国で日本だけが中まん延国でしたが、令和3年にり患率9.2となり、低まん延国※2になりました。



出典：厚生労働省「2022年結核登録者情報調査年報」
(大田区の令和5年度統計は即報値)

※1 結核り患率：人口10万人あたりの新登録結核患者数

※2 低まん延国：人口10万人あたりの結核り患率が10未満であること

■大田区の状況

○大田区の令和5年の結核り患率は8.7と、前年より少し上がっています。コロナ禍が明け、マスクを外す人が多くなったことや、外国籍の入国者が増えたことが関係しているとも考えられます。

○令和5年の結核患者のうち、65歳以上の高齢者が48.4%を占めています。

○20～50歳代の働きざかり世代の結核患者や、外国生まれの患者も増加しています。

4 結核を防ぐために

結核を早く見つけることができれば、患者本人の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族や友人、職場への感染拡大を防ぐことができます。

結核は、早期発見・早期治療が大切です！

高齢者の方、特に80歳以上の方は、早期発見のためにも胸部レントゲン検査を毎年受けましょう。

高齢者は自覚症状がみられずに発見されることがあり、毎年健診を受けることが大切です。

健康診断で胸部レントゲン検査が「要精密」となった場合は、すぐに受診してください。

2週間以上咳が続くときは、医療機関を受診しましょう。

<問合せ先>

大田区保健所 感染症対策課

TEL 4446-2643

FAX 5744-1524



結核予防協会キャラクター
シールぼうや・シールちゃん

もっと知ろう！結核のこと。

大田区 結核 検索

